

病防第66号
平成28年8月10日

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

果樹カメムシ類の発生状況（技術情報第6号）について（送付）

本年の果樹カメムシ類の発生推移およびヒノキ球果離脱時期の予測について取りまとめましたので、防除指導に利用していただくようお知らせします。

記

本年の果樹カメムシ類の予察灯およびフェロモントラップの誘殺数は、平年より少ない状況です。ヒノキ球果から離脱する時期は、合志市が8月下旬頃、熊本市および宇城市が9月中旬頃、天草市が9月下旬頃と予想されます。なお、予想より早く離脱し、園地へ飛来する可能性もあります。

1. 発生状況

- 1) チャバネアオカメムシの7月以降の予察灯誘殺数は、合志市および宇城市で平年比やや少、天草市平年比少の発生であった（表1）。また、フェロモントラップ誘殺数は、いずれの地点とも平年比少の発生であった（表1）。
- 2) ツヤアオカメムシの7月以降の予察灯誘殺数は、合志市で平年比やや少、宇城市および天草市で平年比少の発生であった。また、フェロモントラップへの誘殺は、いずれの地点とも見られなかった（表1）。
- 4) 7月22日（天草市は8月1日）に調査したヒノキ球果における果樹カメムシ類の口針鞘数調査では、県内6地点の平均が1果あたり1.0本（平年2.8本）と平年よりやや少なかった。予測式より算出した球果からの離脱は、合志市は8月30日頃、熊本市河内、宇城市三角および宇城市松橋は9月11～13日頃、天草市は9月20～23日頃と予想される（表2）。

2. 防除対策

果樹カメムシ類は主に山林のスギ・ヒノキ球果を餌として増殖する。本年度は、現在までの誘殺数は平年より少なく、スギ・ヒノキの球果着生量も少ないことから、果樹カメムシ類の発生は少ないと考えられる。なお、球果の状態が悪くなると球果から離脱して周辺の果樹園へ飛来するため、地域によっては早期に園地へ飛来する可能性もあるので、以下の点に注意して防除対策を実施する。

- 1) カメムシ類の発生時期や飛来量は地域や園地による差が大きく、同一園内でも局在するため、園内を観察し早期発見に努める。また、山間部や山沿いの園では、発生が多くなる場合もあるので、特に注意する。
- 2) カメムシ類は日没直後になると園外から侵入し、翌朝飛び去るため、夕方や早朝の防除が有効である。
- 3) 薬剤の使用回数、濃度、使用量、使用時期を遵守するとともに、周辺作物への農薬飛散（ドリフト）に注意する。

表1 各地域のカメムシ類の誘殺状況（7月1～5半旬）

地域名	チャバネアオカメムシ						ツヤアオカメムシ					
	予察灯			フェロモントラップ			予察灯			フェロモントラップ		
	本年	平年値	平年比 (%)	本年	平年値	平年比 (%)	本年	平年値	平年比 (%)	本年	平年値	平年比 (%)
合志市	26	104	25.1	10	143	7.0	7	37	18.8	0	0	-
宇城市(松橋)	19	191	10.0	26	3166	0.8	13	212	6.1	0	26	0.0
天草市(本渡)	15	4009	0.4	21	2359	0.9	9	806	1.1	0	65	0.0

単位：頭、 平年比(%)：(本年誘殺量/平年値)*100

表2 ヒノキ球果口針鞘数からの離脱予想日

地点	口針鞘数 (1果当たり)	離脱まで の日数	離脱予想日
合志市 栄	4.0	40	8月30日
熊本市河内町	0.6	52	9月11日
宇城市松橋町	0.5	52	9月12日
宇城市三角町	0.1	53	9月13日
天草市有明町	0.9	51	9月20日
天草市本渡町	0.0	54	9月23日
平均	1.0	50	9月13日
昨年	4.4	38	8月28日
平年	2.8	44	9月7日

計算式： $Y = 53.93 - 3.559X$

Y：調査日から離脱日までの日数

X：ヒノキ球果の口針鞘数

調査日：7月22日(天草市は8月1日)

熊本県農業研究センター 生産環境研究所
 病害虫研究室 予察指導係 (病害虫防除所)
 担当：荒木、加賀山 TEL：096-248-6490